

「3」と「2」のズレ

私たちがものを考えるとき、

過去・現在・未来

の“3つの時”で考えます。つまり、

「当時、私は大学生でした」が“過去”

「今、私は大学生です」が“現在”

「来年、私は大学生です」が“未来”

です。

“過去”を示すのが「当時」と「…でした」、「現在」を示すのが「今」、未来を示すのが「来年」です。

このように、日本語の場合には時を示すのが必ずしも動詞であるとは限りません。この例でも、“現在”と“未来”の記述は、「私は大学生です」が共通で、この部分だけでは区別できません。

英語では動詞と助動詞が大きな役割を果たします。日本語と英語のこの違いを確認することが出発点です。動詞が表す時のことを「時制」と言います。「時制」は専門用語です。

英語の動詞の形は「現在形」と「過去形」の2つです。

“3つの時”(=過去・現在・未来)

“2つの時制”(=現在形・過去形)

という「3」と「2」のズレをまず確認しておきましょう。未来を表す表現は、まとめて第48話以下で考えます。

「仕事」と現在形

1. 現在形 2. 過去形

動詞のこの2つの形で表現できることは何か。まず、現在形について考えます。

「現在形」という用語を日常用語の感覚で受け取ると、「現在のこと」を表すのだと考えがちですが、それだけに限りません。「現在のこと」も含みますが、「過去・現在・未来」の3つの時に妥当することを述べます。つまり、

現在形では一般論が表現される

ということです。“3つの時”すべてに妥当するということは、

現在形は時を意識しない(timeless)

と言い換えてもよいでしょう。

「お仕事は何ですか」をWhat do you do?と現在形で表現できるし、逆に、What do you do?を「お仕事は何ですか」と状況によっては訳せるのはなぜでしょうか。

「仕事」をどうとらえるかは人によってさまざまでしょう。ただ、仕事に「その人が毎日毎日繰り返して行うこと」という側面があることは、一般に認められていることです。What do you do?を「お仕事は何ですか」と訳せるのは、「仕事」の持つこの性質と、英語の現在形で表現できることが合致するからです。

この流れの中に、次のような表現や考え方も出てきます。➊